



2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月12日

上場会社名 JUKI株式会社

上場取引所

東

コード番号 6440

URL <https://www.juki.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 成川 敦

問合せ先責任者(役職名) エグゼクティブオフィサー

(氏名) 鴨居田 聡 TEL 042-357-2211

総合企画部長

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	20,682	△9.9	399	—	△342	—	37	△23.5
2025年12月期第1四半期	22,957	△1.2	△332	—	△1,035	—	49	—

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 345百万円(—%) 2025年12月期第1四半期 △1,560百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	1.26	—
2025年12月期第1四半期	1.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	119,223	32,533	27.0
2025年12月期	120,594	32,687	26.8

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 32,173百万円 2025年12月期 32,325百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	90,000	1.4	4,500	69.0	2,000	41.6	1,500	7.2	50.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 -社(社名) 、除外 -社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年12月期1Q	29,874,179株	2025年12月期	29,874,179株
2026年12月期1Q	334,377株	2025年12月期	47,855株
2026年12月期1Q	29,746,549株	2025年12月期1Q	29,725,114株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業を取り巻く経済環境、主要市場における政治情勢、為替相場の変動などが含まれます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における事業環境は、米国の関税政策や日中の政治対立、ウクライナや中東における紛争を背景としたエネルギー・資源高、物価上昇・景気減速の懸念が継続するなど、外部環境の不確実性から、依然として先行き不透明な状況が継続しました。

当社においては、このような事業環境に鑑み2024年下期に危機突破プロジェクトを開始し、「売上偏重」から「利益重視」のビジネスモデルへ変革、具体的には縫製事業においてハイエンド市場への重点シフトや機種削減による生産能力適正化等の収益性改善施策を進めております。産機事業においては昨年後半より「グローバルニッチ戦略」へと方針を転換、主要な構造改革を昨年中にほぼ完了しました。

第1四半期の縫製事業はアジア・インド以西等で米国相互関税や中東情勢により一部顧客の投資は慎重な姿勢がみられた一方で、欧米の自動車関連は好調を継続するなど全般的には堅調に推移いたしました。

産機事業は、受託事業は引き続き好調を維持しましたが、産業装置事業は中国の回復遅れもあり、赤字幅は縮小したものの、本格的な回復には至っていません。

これらの結果、売上高は206億8千2百万円（対前年同期比9.9%減）となりましたが、利益面においては、営業利益は対前年比で7億3千2百万円増益の3億9千9百万円（前年同期は3億3千2百万円の損失）、経常損失は支払利息の増加による影響もあり3億4千2百万円の損失（前年同期は10億3千5百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は政策保有株式の売却益を計上したこと等から3千7百万円の利益（前年同期は4千9百万円の利益）となりました。

第2四半期以降、現在進めている新中期経営計画への取り組み、マーケティング戦略の見直しや生産能力適正化等によるコスト競争力強化を加速すると共に産業装置事業の新戦略定着促進を図り、今期目標達成を目指してまいります。

(主なセグメント別の概況)

当第1四半期連結会計期間より、以下のとおりセグメント情報の内容を変更しております。

- ・ 報告セグメント毎の経営成績をより適切に把握するためセグメント利益を経常利益から営業利益に変更しております。
- ・ 従来、調整額に含まれておりました縫製・産機両セグメントに配賦されていない経費は両セグメントに負担させるべく配賦いたしております。

① 縫製事業

縫製事業は、アジア・インド以西等で米国相互関税や中東情勢により一部顧客の投資は慎重な姿勢がみられた一方で欧米の自動車関連は好調を継続するなど全般的には堅調に推移しました。

また、昨年より「売上偏重」から「利益重視」へ方針を変更したこと等から、縫製事業全体の売上高は152億9千3百万円（対前年比12.0%減）となりました。

利益面では、昨年より進めているハイエンド市場への重点シフト、機種削減による生産能力適正化の収益改善施策により安定的に黒字を継続しており、セグメント利益は4億8千8百万円（前年同期は2億4千万円の利益）となりました。

② 産機事業

産機事業は、産業装置事業において主要市場の中国が前年並みに留まり、また、米州・アメリカは中東情勢や相互関税影響もあり顧客の慎重な姿勢が継続したこと等から、産機事業全体の売上高は53億1千9百万円（対前年比3.2%減）となりました。

利益面では、受託事業における「売上偏重」から「利益重視」のビジネスモデルへの転換による収益改善を進め黒字が定着してきたこと等から引き続き黒字基調を継続していますが、産業装置事業の回復遅れもあり、セグメント損失は9千2百万円（前年同期は5億5千6百万円の損失）となりました。産業装置事業においては、主要市場の中国や米州等の回復遅れの懸念がありますが、重点領域や地域を絞ったグローバルニッチ戦略の取り組みと、それに伴う組織再編・工場規模適正化等の構造改革効果の刈り取りを進め早期黒字化を推進してまいります。

(単位：百万円)		2025年度				2026年度	前年比 増減額
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	
縫製	売上高	17,370	16,521	14,410	18,314	15,293	△2,077
	営業利益	240	1,007	698	1,727	488	+248
	[営業利益率]	[1.4%]	[6.1%]	[4.8%]	[9.4%]	[3.2%]	[+1.8%]
産機	売上高	5,494	4,828	5,355	6,168	5,319	△175
	営業利益	△556	△563	△103	253	△92	+464
	[営業利益率]	[-]	[-]	[-]	[4.1%]	[-]	[-]
産装 ※1	売上高	3,358	2,783	3,102	3,850	3,321	△37
	営業利益	△396	△466	△161	209	△205	+191
	[営業利益率]	[-]	[-]	[-]	[5.4%]	[-]	[-]
受託 ※1	売上高	2,137	2,046	2,253	2,319	1,997	△140
	営業利益	△160	△97	58	45	113	+273
	[営業利益率]	[-]	[-]	[2.6%]	[1.9%]	[5.7%]	[-]
その他・ 調整額※2	売上高	92	65	66	72	69	△23
	営業利益	△16	△18	△12	8	3	+20
合計	売上高	22,957	21,415	19,832	24,556	20,682	△2,275
	営業利益	△332	425	582	1,988	399	+732
	[営業利益率]	[-]	[2.0%]	[2.9%]	[8.1%]	[1.9%]	[-]

※1：産機事業の産装及び受託は社内管理会計ベースの金額、(3) 四半期財務諸表に関する注記事項に記載している報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は産機合計で記載しています。

※2：調整額に計上していた共通費用を事業セグメントへの配賦に変更しています。(2025年も変更済み)
構造改革により休眠状態となっている、JUKI (HONG KONG) LTD.、JUKI SMT ASIA CO., LTD. についてはその他に含めております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結累計期間末の総資産は、売掛金の減少や政策保有株式の売却等により前連結会計年度末に比べ13億7千1百万円減少して1,192億2千3百万円となりました。負債は、有利子負債の減少等により前連結会計年度末に比べ12億1千6百万円減少して866億9千万円となりました。純資産は、配当金支払いに伴う利益剰余金の減少や政策保有株式売却に伴うその他有価証券評価差額金の減少等により前連結会計年度末に比べ1億5千4百万円減少して325億3千3百万円となりました。

また、当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、主に売掛金の回収が進んだことから26億4千9百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは政策保有株式の売却による収入があったこと等により3億2千2百万円の収入、財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済等により12億4百万円の支出となりました。営業キャッシュ・フローは2024年以降改善を継続しております。

(単位：百万円)

	2024年 通期	2025年 通期	2026年 1Q
営業キャッシュ・フロー	+ 9,371	+11,712	+2,649
投資キャッシュ・フロー	△2	+4,364	+322
財務キャッシュ・フロー	△4,147	△16,145	△1,204

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期は主に縫製事業と受託事業が順調に利益計上を継続し営業利益は黒字の実績となりました。利益重視への戦略転換の効果が着実に定着してきております。

また、引き続き縫製の市場は全体的に堅調であり、特に欧米自動車関連は第1四半期以降も好調が継続する見通しです。

なお、中東情勢の影響については現時点では不透明な要素が多く現在精査中であり、連結業績予想を修正する必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,136	15,063
受取手形、売掛金及び契約資産	23,887	21,294
棚卸資産	50,521	51,004
その他	2,529	2,516
貸倒引当金	△427	△429
流動資産合計	89,647	89,448
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	9,168	9,031
土地	6,139	6,061
その他(純額)	5,532	5,394
有形固定資産合計	20,840	20,487
無形固定資産		
投資その他の資産	3,719	3,611
その他	6,402	5,693
貸倒引当金	△15	△17
投資その他の資産合計	6,386	5,675
固定資産合計	30,946	29,774
資産合計	120,594	119,223
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,209	6,653
電子記録債務	1,971	1,414
短期借入金	51,696	52,258
未払法人税等	395	240
契約負債	1,208	967
賞与引当金	14	522
その他	5,752	5,243
流動負債合計	67,248	67,300
固定負債		
長期借入金	13,870	12,956
役員退職慰労引当金	20	8
退職給付に係る負債	4,239	4,227
その他	2,527	2,197
固定負債合計	20,658	19,389
負債合計	87,906	86,690

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,044	18,044
資本剰余金	1,802	1,802
利益剰余金	5,463	5,203
自己株式	△39	△239
株主資本合計	25,271	24,811
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	279	0
為替換算調整勘定	6,596	7,283
退職給付に係る調整累計額	176	78
その他の包括利益累計額合計	7,053	7,362
非支配株主持分	362	359
純資産合計	32,687	32,533
負債純資産合計	120,594	119,223

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年1月1日 至2026年3月31日)
売上高	22,957	20,682
売上原価	17,201	14,662
売上総利益	5,755	6,019
販売費及び一般管理費	6,088	5,620
営業利益又は営業損失(△)	△332	399
営業外収益		
受取利息	16	12
受取配当金	49	—
受取地代家賃	15	21
雑収入	37	24
その他	113	46
営業外収益合計	233	105
営業外費用		
支払利息	421	493
為替差損	404	205
持分法による投資損失	76	119
その他	33	27
営業外費用合計	936	847
経常損失(△)	△1,035	△342
特別利益		
固定資産売却益	4	13
投資有価証券売却益	1,236	404
特別利益合計	1,241	417
特別損失		
固定資産除売却損	9	14
特別損失合計	9	14
税金等調整前四半期純利益	196	60
法人税等	137	16
四半期純利益	59	44
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	49	37

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	59	44
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	110	△279
為替換算調整勘定	△1,609	684
退職給付に係る調整額	△49	△98
持分法適用会社に対する持分相当額	△71	△6
その他の包括利益合計	△1,619	301
四半期包括利益	△1,560	345
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,570	346
非支配株主に係る四半期包括利益	10	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

自己株式の取得

当社は、当第1四半期連結累計期間において、2026年2月20日開催の取締役会に基づき、自己株式284,300株を199百万円で取得いたしました。この結果、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が239百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法等を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	縫製事業	産機事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,370	5,494	22,864	92	22,957	—	22,957
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	21	22	91	114	△114	—
計	17,371	5,516	22,887	184	23,071	△114	22,957
セグメント利益 又は損失(△)	240	△556	△316	△16	△332	—	△332

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	縫製事業	産機事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,293	5,319	20,612	69	20,682	—	20,682
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	15,293	5,319	20,612	69	20,682	—	20,682
セグメント利益 又は損失(△)	488	△92	395	3	399	—	399

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビル管理事業等を含んでおりません。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

従来、当社の報告セグメントに係る利益の算定については、経常利益を基準としておりましたが、当第1四半期連結累計期間より、営業利益を基準として算定する方法に変更し、調整額に含まれておりました縫製・産機両セグメントに配賦されていない経費等は両セグメントに負担させるべく配賦いたしております。

また、構造改革により休眠状態となっている、JUKI (HONG KONG) LTD.、JUKI SMT ASIA CO., LTD.についてはその他に含めております。

本変更は、各報告セグメントにおける本業に係る収益力をより適切に表示するとともに、国内外の同業他社における開示実務や、一般的に用いられている財務分析指標との比較可能性を向上させることを目的としたものであります。また、当社グループにおいては、経営管理および事業評価における主要な指標として、営業利益を用いており、本変更は、当社の内部管理指標と外部開示指標の整合性を図るためのものであります。

なお、前第1四半期連結累計期間の報告セグメントに係る情報については、当第1四半期連結累計期間の表示方法に基づき組み替えて表示しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	865百万円	852百万円
のれんの償却額	3 "	3 "

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は以下のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	中国	インド	米州	アメリカ	欧州	その他	合計
縫製事業	1,531	4,641	3,918	2,231	575	2,121	1,856	493	17,370
産機事業	2,289	650	971	135	192	710	521	22	5,494
その他	92	—	—	—	—	—	—	—	92
計	3,913	5,291	4,889	2,367	768	2,832	2,378	515	22,957

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	中国	インド	米州	アメリカ	欧州	その他	合計
縫製事業	1,677	3,779	3,075	1,995	403	2,506	1,488	367	15,293
産機事業	2,319	364	1,019	174	109	673	653	4	5,319
その他	69	—	—	—	—	—	—	—	69
計	4,067	4,143	4,095	2,170	512	3,179	2,142	371	20,682

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。